

I. 2003 (H15) 年度第 3 回編集委員会

開催形式：電子会議

日時：質疑応答・討論

2003 年 10 月 3 日 (金)~10 月 9 日 (木)

採決

2003 年 10 月 10 日 (金)~10 月 15 日 (水)

出席委員：石黒宗秀 井上久義 井上光弘 木原康孝
 酒井俊典 櫻井克年 佐藤泰一郎 近森秀
 高 取出伸夫 中尾誠司 中村公人 西村
 直正 平沢 正 三浦健志 吉川省子 吉
 田正則 (委員 18 名中 16 名参加：成立)

○議事内容

1. 報告

編集委員会事務局より編集委員会事務局報告がなされ、全会一致で承認された。

2. 議題

(1) 編集委員会事務局より提案のあった『『土壌の物理性』投稿原稿の受理について』は原案通り全会一致で採択された。

(2) 編集委員会事務局より提案のあった『『土壌の物理性』第 95 号編集・発行計画』は原案通り全会一致で採択された。

3. その他 (連絡)

(1) 「投稿規定 4」で規定された超過ページ著者負担金額

実際と乖離を生じている場合には改正案を本年 11 月開催予定の評議員会に提案する方向で検討を進める旨の考えが示された。

(2) 第 45 回土壌物理学会シンポジウム

編集委員会事務局より、参加の呼びかけがあった。

(3) 次回編集委員会の開催

『土壌の物理性』第 96 号発行、および 2004 年度編集・発行方針の決定に向けて 2004 年 1 月末~2 月上旬頃に開催予定。また編集委員会事務局より、第 97 号以降の原稿依頼等は当面 2003 年度編集・発行方針に準じて作業を進める旨の考えが示された。

4. 質疑応答・討論

「報告」「議題」「その他 (連絡)」に対する質疑応答・討論を行った。

II. 2003 (H15) 年度第 2 回評議員会

日時：2003 (H15) 年 11 月 22 日 (土) 12:00~12:30

場所：岡山大学五十周年記念館ゲートルーム

出席：赤江剛夫 (会長), 長谷川周一 (副会長), 井上久

義 (評議員・編集委員長), 足立一日出 (以下評議員), 筑紫二郎, 石黒宗秀, 吉川省子, 中村公人, 安中武幸, 宮崎 毅, 溝口 勝 (11 名+委任状 6 名), 事務局幹事 (諸泉利嗣, 吉迫 宏, 成岡 市)

議題:

- ・会員の入退会について (会則第 4 条; 承認)
- ・会費長期滞納者の取り扱いについて (会則第 4 条; 承認)
- ・第 45 回シンポジウム開催について (庶務幹事報告)
- ・学会賞選考委員の推薦について (会則第 9 条, 委員会規定; 承認)
- ・学会賞 (論文賞) の推薦について (委員会規定; 承認)
- ・学会賞選考規定の改正について (会則第 9 条; 承認)
- ・学会賞 (優秀ポスター賞) の推薦方法について (藤井選考委員長 (代 宮崎委員) 報告)
- ・企画準備委員会の発足について (長谷川企画委員長報告)
- ・編集委員会報告 (編集委員長報告)
- ・日本学術会議研連報告 (庶務幹事報告)
- ・総会の開催について (会則第 7 条; 承認)
 - 1) 開会
 - 2) 議長選出
 - 3) 議事 (学会賞規定改正 (審議・承認), 学会賞選考委員 (審議・承認), 同左論文賞 (決定), 企画検討委員会 (報告), 編集委員会 (報告), 2002 年度決算 (審議・承認)・監査報告, 2003 年度予算 (審議・承認))
 - 4) 議長解任
 - 5) 学会賞 (論文賞) 授与
 - 6) 閉会
- ・その他 (第 46 回シンポジウムは 2004 (H16) 年 11 月 13 日 (土), 岡山大学創立五十周年記念館にて開催予定)

III. 第 45 回土壌物理学会シンポジウム

開催日：2003 (H15) 年 11 月 22 日 (土)

場所：岡山大学五十周年記念館

参加者：約 100 名

シンポジウム講演：5 課題

ポスターセッション発表：25 課題

情報交換会：約 70 名

プログラム：

8:30- 9:00 受付

9:00- 9:05 開会挨拶

- 9:05-11:35 シンポジウム「土壌物理における界面科学と計測」(午前の部), 座長: 取出伸夫/佐賀大学農学部
- 9:05-9:50 粘土ペーストの構造と力学特性, 藤井克己(岩手大学農学部)・石川奈緒(岩手大学大学院連合農学研究科)
- 9:50-10:35 アロフェン・イモゴライトの水分保持・吸着特性と微細構造, 軽部重太郎(茨城大学農学部)
- 10:35-10:45 休憩
- 10:45-11:30 海成粘土の沈降様式, 沈降速度, ゼータ電位について, 近藤文義(宮崎大学農学部)
- 11:30-14:00 ポスターセッション「土壌物理研究の最前線」, 座長: 中村公人/京都大学農学部
- 11:30-12:00 ポスター発表内容紹介
- 12:00-14:00 ポスター発表
- 12:00-12:30 評議員会
- 12:30-13:00 総会, 学会賞(論文賞)授与
- 14:00-16:00 シンポジウム「土壌物理における界面科学と計測」(午後の部), 座長: 溝口勝/東京大学大学院農学生命科学研究科
- 14:00-14:45 土壌粘土の荷電ゼロ点, 櫻井克年(高知大学農学部)
- 14:45-15:00 休憩
- 15:00-16:00 Effects of Structural Fe Oxidation States on Physical-chemical Properties of Smectites: Evidence from Infrared Spectroscopy, Joseph W. Stucki (College of Agricultural, Consumer, and Environmental Sciences, University of Illinois)
- 16:00-17:00 総合討論「土壌物理における界面科学と計測」, 司会: 取出伸夫・溝口 勝
- 17:00-17:05 閉会挨拶
- 17:30-19:30 情報交換会

IV. 学会賞選考委員会の選任(任期: 2003.4.1~2005.3.31)

- 委員長 藤井克己, 岩手大学教授(前学会賞選考委員会準備委員会委員長)
- 委員 井上久義, 近畿中国四国農業研究センター研究室長(現編集委員長)
- 岡崎正規, 東京農工大学教授(前副会長)

柏渕辰昭, 山形大学教授(前編集委員長)

河野英一, 日本大学教授(元会長)

宮崎 毅, 東京大学教授(前会長)

(2003.11.22 評議員会・総会 承認)

V. 土壌物理学会学会賞規定の改正(下線は改正部分)

- 種類 学会賞に論文賞と優秀ポスター賞をおく。
- 募集 論文賞の募集は年1回行い, 学会誌「土壌の物理性」に公示する。
- 推薦
 - (1) 論文賞は正会員1名以上により推薦されたものを候補とする。
 - (2) 推薦は所定の書類を必要部数揃え, 学会事務局へ提出する。
 - (3) 優秀ポスター賞については推薦を必要としない。
- 選考 学会賞の審査並びに選考は, 選考委員会において行う。
- 表彰 論文賞は通常総会において表彰を行う。
- その他
 - (1) 論文賞の推薦がない場合も, 選考委員会が適格論文の中から選考することができる。
 - (2) 論文賞に該当する論文は, 「土壌の物理性」に, 原則として受賞の前年4月1日から受賞年の3月31日までに掲載された原著「論文」を対象とする。
 - (3) 優秀ポスター賞の対象者は, 土壌物理学会シンポジウムのポスター発表者(本人)とする。なお学生に限り会員外であっても対象に含める。
(2002.11.22 制定 2003.11.22 改正)
(2003.11.22 評議員会・総会 承認)

VI. 土壌物理学会学会賞選考委員会規定の改正(下線は改正部分)

- 目的 学会賞選考委員会(以下委員会という)は, 論文賞及び優秀ポスター賞の選考を行うことを目的とする。
- 業務 委員会はつぎの業務を行う。
 - (1) 学会賞規定に基づく論文賞及び優秀ポスター賞の選考。
 - (2) 土壌物理学会学会賞選考に関するその他の事項。
- 構成 委員会は委員長1名および委員5名程度を持って構成する。
 - (1) 委員会は正会員より構成される。
 - (2) 委員は評議員会の推薦に基づき総会で決定する。
 - (3) 任期は2年とする。ただし, 再任はさまたげない。
 - (4) 委員長は委員の互選により選出する。
 - (5) 若干名の専門委員をおくことを認める。

4. 開催 委員会は年3回程度開催する。

(2002.11.22 制定 2003.11.22 改正)

(2003.11.22 評議員会・総会 承認)

VII. 第1回(平成14年度)土壤物理学会賞(論文賞)

受賞者

(1) 授賞者: 上野 薫 (所属・職名: 岡山大学大学院自然科学研究科・博士課程学生, 論文掲載当時)

(2) 賞の表題: 酸性硫酸塩土壌の水分状態と微生物活性に関する研究

(3) 業績

① 児島湖底堆積土の酸性化過程における温度・水分条件の影響, 91号, 15-23, 2002年

② 酸性硫酸塩土壌の乾燥過程が微生物活性および鉄の形態に与える影響, 91号, 49-57, 2002年

③ 酸性硫酸塩土壌の水分状態が土壌呼吸活性に及ぼす影響, 93号, 35-45, 2003年

(3編いづれも足立忠司, 成岡 市との共著)

(4) 授賞理由

酸性硫酸塩土壌は熱帯の低湿地などに広く分布する土壌である。その農地利用を目的として、低湿地の排水・乾燥化を進めるとき、同時に土壌の酸性化も進行する。したがって硫酸塩土壌の酸性化機構の解明と改良手法の開発は、農業生産の面からも急務となっている。本業績は、酸性硫酸塩土壌の生成過程において、物質の酸化に関与する微生物酸化と化学的酸化の関係、特に前者の役割について実験的な検討を試みたものである。すなわち論文①では、乾燥経歴のない児島湖底堆積土について、酸性化過程における温度・水分条件の影響を検討し、微生物活性の関わりの重要性を指摘した。そこで論文②では、中干干拓地土壌について、乾燥過程における微生物活性の変化を鉄酸化細菌を指標として実験的に把握した。次に論文③では、乾燥に伴う土壌中の生物呼吸量の変化を微生物組成との対応から、実験的に検討した。

以上のように3つの論文からなる本業績は、硫酸塩土壌の乾燥過程、わけてもその水分状態と微生物活性に関して、綿密かつ着実な実験成果をあげており、内容的に高い完成度と新規性を有している。よって土壤物理学会賞(論文賞)に値するものと認め、ここに表彰する。

(2003.11.22 評議員会・総会 承認)

VIII. 第1回(平成15年度)土壤物理学会賞(優秀ポスター賞)受賞者

優秀ポスター賞選考委員: 宮崎 毅委員, 井上久義委員, 中村公人専門委員, 赤江剛夫専門委員(会長), 長谷川周一専門委員(副会長)

受賞者(共著者; 所属)/題名(英語題名):

(1) 徳本家康* (取出伸夫*, 井上光弘** ; *佐賀大学農学部, **鳥取大学乾燥地研究センター)/黒ボク土の飽和・不飽和溶質分散について (Hydrodynamic Dispersion in Saturated and Unsaturated Andisols)

(2) 王 麗萍* (赤江剛夫** ; *岡山大学自然科学研究科, **岡山大学環境理工学部)/TDRで推定した未凍結水分量による凍結融解過程の特徴について (A study of the characteristics of freezing-thawing process by unfrozen water content estimated from TDR data)

(3) 石川重徳 (西村 拓; 東京農工大学大学院農学研究科)/土壌の水分状態が溶質移動パラメータのスケール依存性に与える影響 (Effect of soil moisture condition on scale dependency of solute movement)

(4) 渡辺晋生* (横川公亮** ; *三重大学生物資源学部, **日本炭酸(株))/ガラス粉体中のTHFハイドレートの成長形と塩濃度依存性 (Crystal shape of THF hydrate in porous glass powder saturated with NaCl solution)

(5) 佐藤泰一郎* (河田健太郎*, 川田大輔*, 北村誠二*, 小椋正澄*, 猪野真吾**, 玉木明世** ; *高知大学農学部, ** (有)バサラ)/攪乱土壌の圧縮充填特性に関する研究 (The compression molded characteristic property of the disturbed soil)

(2003.11.22 学会賞選考委員会決定)

(授賞式は情報交換会にて行われた)

IX. 会員消息 (2003.11.22 評議員会承認)

氏名

入会	正会員	近藤 文義
	正会員	小松登志子
	学生会員	本田 純一
退会	正会員	広瀬 理
	正会員	三浦 泰昌
	正会員	坂上 寛一
	正会員	木下 彰
	正会員	渋谷勤治郎
	正会員	木俣 勲
	正会員	東 順三
	正会員	前窪 伸雄
	正会員	大槻 恭一
	正会員	長堀 金造
	正会員	吉田 大文

正 会 員 Kingshuk Roy
正 会 員 市川 眞祐
正 会 員 白岩 隆己
会費長期滞納（5～16年間）につき名簿から削除
正 会 員 福田 正己
正 会 員 伊良部忠男
正 会 員 五島 康
正 会 員 馬場 昂
正 会 員 森 日出丸
正 会 員 森 哲男

正 会 員 八木 史郎
正 会 員 守安 卓弥
正 会 員 山路 永司
正 会 員 高木 東
正 会 員 福島 晟
正 会 員 田中 明
正 会 員 南里 勝義
学生会員 安積晃次郎
学生会員 中川 英
学生会員 熊谷 朝臣

訃 報

石田智之編集委員（香川大学農学部教授）は1月29日にご逝去されました（享年48才）。謹んでご冥福をお祈り致します